

2023 年度 《第 20 回》

関西経営品質賞



「関西経営品質賞」のミッション

「“良い経営”を通じて関西から
世界に誇る企業・組織を輩出する」

このミッションのもとで、次の2点の実現を目指します。

- ① 関西地域において、「経営品質向上プログラム」の考え方による経営革新を行ない、それが実績につながっている組織を表彰することによって、目指すべき“良い経営”を示します。
- ② 申請される組織が、「経営品質向上プログラム」の目的である“良い経営”を目指し、自らの経営を自らが振り返ることによって、つまり、申請書の作成における気づきと、審査過程（アセスメントからフィードバック会議まで）における気づきによって、更なる経営革新を実現していくことを支援します。

「関西経営品質賞」創設宣言

(2004.4.15 「関西生産性大会 2004」にて)

関西経営品質賞判定委員長

神戸大学 名誉教授 加護野 忠男 氏

関西を良くしていくことが、「関西経営品質賞」創設の目的である。関西を良くしていくためには、関西にある組織を良くしなければならない。そのために関西で良い経営をされている企業・組織を表彰させていただく。

「“良い経営”を通じて関西から世界に誇る企業・組織を輩出する」。これが関西経営品質賞のミッションである。関西にはすでに世界に通用する企業が多数あるが、さらにもっと多くの企業に世界に通用する経営をしてもらいたいと思っている。

そもそも経営とは何か。経営学者として最も返答に困る設問だが、私は“良いことを上手にすること”が経営のエッセンスであると答えている。今までの生産性本部は生産性を上げて上手に仕事することに重点を置いていた。しかし、これからはただ単に上手に仕事をするだけではなく、「自分たちがしていることは良いことなのか」ということを常に点検し評価していくことが大切になる。

この経営品質賞では、良いことを上手にできているかどうかを外部の人に評価してもらう。現在、関西生産性本部が中心になってアセッサーを養成しているが、こうした外部の人が良い経営が行われているかどうかを評価して表彰することが経営品質賞の具体的な活動になる。

申請組織の資格は、基本的にはほとんど制限はない。関西に存立する企業・組織であれば挑戦できて、本社が関西ではなく海外や他の地域にあっても、事業所が関西にあれば資格対象組織になる。その事業所も工場だけではなく、サポート部門も含まれており、さまざまな企業・組織からの応募を期待している。

関西経営品質賞は、受賞すればそれで良いということではなく、自分たちが改善・改革してきたことをできるだけ多くの企業・組織に伝えるという伝道師の役割を果たす義務もある。受賞が最終目的ではなく、この賞を通じて全体のレベルアップを目指しているので受賞された企業・組織にはその協力を是非ともお願いしたい。

建築家

安藤 忠雄 氏

(シンボルマークと受賞組織に贈られるトロフィーのデザインを担当)

可能性は一人ひとりにあるにもかかわらず、大阪は一人ひとりに元気がない。1960年代頃からスケールメリットを追求し、企業が売上拡大を追い求めた結果、頭の刺激が不足している。人生 80 年ということを考えれば、日々、文化的・刺激的なことに関わりを持つべきだが、多くの人は無関心になっている。1 年間に 3 回、映画を見て美術館に行く人は少ない。分相応の中で全力投球し、どう生きるかということを誰しも責任ある個人として考えなかったともいえる。

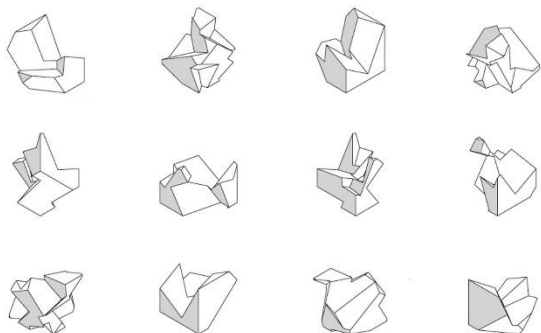
私は無我夢中で仕事をしてきた。それができなくなれば仕事を辞めようと思っているが、今の日本は生き甲斐を見出すことより不満ばかりが蔓延している。古代ギリシヤやローマの滅亡は人間の退廃から始まった。日本も現状が続くなら先行きは暗い。ただ、東京だけは元気だ。しかし、あの過激な都市で生き抜くのは難しい。私は意地もあり、大阪で頑張るつもりである。

私たちは、自分のことは自分で考えなければならない。特に、大阪の人にそのことを意識してもらいたい。誰もが自分の夢に青春を賭け猛烈に頑張れば、大阪は必ず再生できる。今のままでは、私たちの子どもの時代には身動きのできない街になりかねない。

私は 1978 年からコンピュータで図面を書いているが、コンピュータは決して万能ではない。人間の頭脳とコンピュータ、つまりローテクとハイテクが上手く融合すれば素晴らしい作品ができる。

関西経営品質賞のトロフィーは、コンピュータだけで解析したものではなく、人間の手を入れなければならないもの、原理は同じでも形が毎年違うものということをコンセプトにしている。多様性あふれる時代では、個性的な違いがわかるものが尊重される。私たちは社会的能力と個人的能力を同時進行的に高めていかなければならない。今回のトロフィーは正方形が原点となっているが、多様性にあふれて時とともに変化していく、そういう願いを表現している。

VARIATION



【関西経営品質賞トロフィー・デザインコンセプト】

素材は透明なアクリル樹脂。

単純な立方体のある数学的規則に則って、削りだして生まれる不定形のオブジェ。

システムの初期条件を変えるだけで、無限のバリエーションが可能になる。

一つとして、同じ形のものとはつくられない。

トロフィーは題して＜Potential＞。

固定的な＜形＞のトロフィーではない。

多様性・流動性に価値が置かれる時代に相応しい、＜考え方＞が主題のトロフィーだ。

関西経営品質賞の特徴

1. 世界 100 以上の国や地域で支持された「米国マルコム・ボルドリッジ国家品質賞」に基づくプログラム

本賞の母体となった日本経営品質賞は、80年代の米国経済の復活に寄与したとされる「マルコム・ボルドリッジ国家品質賞(MB賞)」を範として1995年に創設した表彰制度です。わが国でも「経営品質向上プログラム」という形で体系化され、多くの企業や組織体で取組まれているとともに、各地域でも県知事が表彰する地域賞などが創設されています。

2. 組織の「状態」を審査

本賞は単に財務的數字や個々の革新的な方法論・手法、あるいは活動の「量」や「結果」を評価するものではなく、その組織が“良い経営”の実現に向けて、「ありたい姿や戦略が明確であるか?」「ありたい姿を実現するための組織内での各活動が回っていて、立証するための成果が出ているか?」「更なる革新へ繋げているか?」という一連の経営の設計図から実践活動、事業活動の流れまでを俯瞰的に評価いたします。

3. 更なる経営革新に向けた改善提言として「フィードバックレポート」を作成

本賞の審査では、下記のプロセスに基づいて審査を行います。この審査の過程を通じて得られた審査員の気づきや考えを「フィードバックレポート」としてまとめ、審査組織へフィードバックいたします。

＜関西経営品質賞の審査プロセス（概略）＞

I. 申請書のご提出 : “顧客価値経営ガイドライン”の記載内容に基づき、自組織の価値観や取組み内容を記述いただきます。(A4で最大70ページ)



＜フィードバックレポートの形式(ご参考)＞ ※2022で使用

Ⅱ．書類審査・現地審査：上記の申請書による書類審査と、実際の組織の浸透度や活性度を確認する現地審査を通じて、組織の状態を評価します。



Ⅲ. フィードバック：審査を行った結果、組織の強みと、更なる改善に向けた提言を記載したフィードバックレポートを作成いたします。

1 リーダーシップ(100)

		【評価根拠】										レベル				
		<質問・状況の把握>														
		<計画・革新への取り組みの程度>														
		【強みと改善領域】														
強 み	①	事象											3			
		効果														
		結果														
	②	事象											3			
		効果														
		結果														
改 善 領 域	①	事象											3			
		改善理由														
		例示														
	②	事象											3			
		改善理由														
		例示														

以上のことから、このカテゴリーは「○○」レベルと判断しました。

関西経営品質賞の歴代受賞組織

	AA(700～899)	A(500～699)	B+(400～499)	B-(300～399)	
	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ	
2022	該当なし	・(株)ケーイーシー	・栗本商事(株)	該当なし	
2021	該当なし	該当なし	・(福)聖綾福祉会	・(有)バイオベツト (加古川動物病院)	
2019	該当なし	・浜理薬品工業(株)	・(株)リブドゥコーポレーション メディカル事業部門	該当なし	
2018	該当なし	該当なし	・社会福祉法人 あかね ・(株)ケーイーシー ・医療法人誠仁会 りょうき歯科クリニック	・日本電子工業(株)	
2017	該当なし	・(株)王宮 ホテル 宴会・宿泊部門	・(株)リブドゥコーポレーション ライフケア国内事業部門	・三和建設(株)	
2016	該当なし	該当なし	・(株)王宮 道頓堀ホテル	該当なし	
2015	該当なし	・(株)スーパー・コート 介護事業本部 (旧・(株)シティー・エステート 介護事業本部)	該当なし	・(株)ケーイーシー ・日本電子工業(株) ・医療法人誠仁会 りょうき歯科クリニック	
	特別賞	関西経営品質賞	優秀賞	奨励賞	
2014	該当なし	該当なし	・(株)神戸ポートピアホテル ・浜理薬品工業(株) ・レッキス工業(株)	・平安キヤノン事務機(株)	
2013	該当なし	該当なし	・(株)京進 ・ノアインドアステージ(株)	該当なし	
2012	該当なし	・(株)森長工務店 ・ヤチヨコアシステム(株)	・(株)伍魚福 ・(株)シティー・エステート 介護事業本部	・浜理薬品工業(株)	
	特別賞	関西経営品質賞	奨励賞		
2011	該当なし	該当なし	・(株)伍魚福		
2010	該当なし	・パナソニック電工解析センター(株)	・(株)カミッグ ・(株)神戸ポートピアホテル ・(株)シティー・エステート 介護事業部 ・(株)森長工務店 ・ヤチヨコアシステム(株)		
2009	該当なし	・プライミクス(株)	・滋賀ダイハツ販売(株) ・(株)ベル		
	大賞	イノベーション賞	ポテンシャル賞		
2008	該当なし	・パナソニック(株)モータ社 産業モータビジネスユニット	該当なし		
2007	該当なし	・(株)スーパーホテル	・(株)カミッグ		
2006	該当なし	・松下電器産業(株) 松下ホームアプライアンス社 家庭電化事業グループ クリーナービジネスユニット	該当なし		
2005	該当なし	該当なし	・(株)遠藤照明		
	大賞	イノベーション賞			
2004	該当なし	・(株)パトライト ・松下電器産業(株) 松下ホームアプライアンス社 エアコンデバイス事業部			

(注)2004～2014 年度の受賞基準は、現在の基準に対応させたものです。 ※組織名は受賞当時のもの。2020 年度は全賞の該当なし

2023年度 関西経営品質賞 概要

◆賞制度

(注)大規模部門、中小規模部門の区別はありません。

2023年度の関西経営品質賞では、

「プラチナ」、「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」

の各賞を設けております。

7月21日開催の同賞の説明会にて詳細を説明させていただきます。

◆賞を運営する組織とその役割

(敬称略・順不同 2023年4月1日現在)

(1) 賞委員会

本賞全体における最高意思決定機関で、表彰組織の最終決定・発表および、表彰制度、審査員の選考基準、審査プロセスなど本賞に関するあらゆる面について審議・決定します。

委員長	大坪清	(公財)関西生産性本部 会長(レンゴー㈱ 代表取締役会長 兼 CEO)
委員	岡橋達哉	㈱りそな銀行 副会長
	田中宏和	(公財)関西生産性本部 副会長(連合大阪 会長)
	村田治	(公財)関西生産性本部 副会長(関西学院大学 経済学部教授)
	平井紀夫	元 オムロン㈱ 副社長

(2) 判定委員会 ※関西経営品質賞のみ開催

各分野の専門家である学識経験者が、審査員による申請組織の審査結果及び評価レポートの妥当性、さらに表彰組織候補を判定し、関西経営品質賞委員会に推薦します。

委員長	加護野忠男	神戸大学 名誉教授
副委員長	原田勉	神戸大学大学院 経営学研究科教授
委員	石井淳蔵	神戸大学 名誉教授、流通科学大学 名誉教授
	小菅正伸	関西学院大学 商学部教授
	松山一紀	同志社大学 社会学部産業関係学科教授

(3) 認証会議 ※関西経営品質賞 ベーシック認証のみ開催

各分野の専門家である学識経験者が、審査員による申請組織の審査結果及び評価レポートの妥当性、さらに表彰組織候補を判定し、関西経営品質賞委員会に推薦します。

委員	栗木契	神戸大学大学院 経営学研究科 教授
	原田勉	神戸大学大学院 経営学研究科 教授

(4) 賞制度企画委員会

賞制度、審査プロセス、審査員養成などの本賞に関する制度について審議・決定します。

委員長	平井紀夫	元 オムロン㈱ 副社長
副委員長	加護野忠男	神戸大学 名誉教授
委員	長友隆司	㈱K a i r o s 代表取締役社長
	宇高育男	コベルコビジネスパートナーズ㈱ ビジネス研修部 研修開発グループ上席部員
	山元喜尚	ワイ・エム・オフィス 代表

2023年度 関西経営品質賞 応募要領

1. 審査基準

2023年度の「顧客価値経営ガイドライン」とします。

2. 申請組織の資格・制限

(1) 資格

①対象組織

関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、福井県)に所在する組織

②経営品質向上プログラムの考え方にもとづくセルフアセスメントを実施していること。

③申請組織説明会への参加(原則、対面での開催となります。)

「申請組織説明会」には経営トップおよび推進担当者の両者にご参加いただきます。

と き： 7月21日(金) 10:00～12:00

(2) 資格制限(次に該当する組織は関西経営品質賞に申請することができません)

①同一資本グループまたは企業系列における同一機能組織の同時申請

②設立3年未満の組織

③ビジネス・サポート専門事業部やオペレーションのみを担う企業内組織

④併願申請

⑤その他：事務局が当該組織の審査実施が困難と認めた場合、申請することができません。

3. 受賞組織への期待

①表彰式(関西生産性大会)での組織代表者のスピーチと受賞組織報告会での報告・資料提供

②関西経営品質協議会をはじめとする各地の経営品質協議会主催の会合での講演(原則として受賞後3年間)

③経営品質向上活動の普及・促進への協力として、関西経営品質協議会への加入と自組織のセルフアセッサの育成を積極的に行う

4. 申請費用

(1) 申請費用

¥979,000円(消費税10%込)

(2) 追加費用

トップインタビュー、現地審査(実施する場合)、フィードバック会議時に発生する、審査チーム(審査員3～4名、研修生1名)、及び事務局1名の宿泊費・食費の実費、交通費。

※トップインタビュー、現地審査(実施する場合)、フィードバック会議は、申請組織にて実施いたします。

※交通費は、下記の通り頂戴します。

関西(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県)在住の審査員が担当する場合：一人当たり1日2,000円(税込)頂戴します。

関西以外の審査員が担当する場合：実費請求。

※遠地への移動が伴う場合等の宿泊費・交通費等は、申請組織との協議の上、決定します。

《本賞に関するお問合せ先》

(公財)関西生産性本部 「関西経営品質賞」事務局(担当：揚倉(アゲクラ)、川島)

Tel(06)6444-6464 Fax(06)6444-6450

<https://www.kpcnet.or.jp/kqc>

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

5. 関西経営品質賞への申請・審査の基本的な流れ(2023年度)

①応募要領の配布	5/11(木)	今年度の関西経営品質賞の申請・審査のプロセスについてリリースいたします。
②申請組織説明会	7/21(金)	申請を予定している組織の経営トップおよび推進担当者を対象に、本賞の位置づけ、役割について説明を行います。
③資格確認書の提出	8/9(火) 〆切	申請する組織は、「資格確認書」を関西経営品質賞事務局まで郵送、E-mail もしくは FAX で提出いただきます。後日、確認結果を申請組織へ連絡します。
④申請書の提出	10/12(木) 〆切	「申請書」を電子ファイル(PDF)で、賞委員会事務局へ提出いただきます。
⑤書類(個別)審査	10/12(木)～ 11/8(水)	審査チーム(審査員 3～4 名、研修生 1 名、事務局 1 名)を構成し、審査員が書類審査にあたります。
⑥トップインタビュー(半日間)	11/1(水)～	審査チームが申請組織を訪問し、経営幹部にビジネスモデルや経営革新の意図・方向性についてヒアリングを行います。また、申請組織が認識している業界動向についても確認します。
⑦合議審査(2日間)	11/15(水)～	審査員が個別の評価結果をもとに合議審査を行い、第1回判定委員会に向けて準備をします。
⑧第1回判定委員会	12/17(日) (予定)	審査リーダーと判定委員が互いの仮説と推論を明らかにしながら、審査の方向性、表彰対象候補の検討、現地審査の有無について意見交換を行います。
⑨現地審査(3日間) [インタビュー2日、合議審査1日]	12/18(月)～	審査チームが申請組織を訪問し、申請書の記述内容やヒアリングでの確認内容が実際にどの程度、実践されているかを経営幹部や社員へのインタビューを事前計画をもとに確認します。
⑩第2回判定委員会	2024 年 1/25(木) (予定)	現地審査結果をもとに、フィードバックレポートの内容について確認します。表彰対象候補を決定し、賞委員会へ推薦します。
⑪関西経営品質賞委員会	2月上旬頃	判定委員長からの報告に基づき表彰組織を決定します。
⑫フィードバック会議	3月上旬～	フィードバックレポートをより分かりやすく伝え、申請組織の疑問点に答えるために、申請組織に訪問して説明を行います。
⑬表彰式	4月中旬	「関西生産性大会」にて表彰し、受賞組織の代表にスピーチをいただきます。
⑭関西経営品質賞報告会	6月上旬	受賞組織の方からこれまでの経営革新活動と今後の推進の方向性などについて報告いただきます。

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、Zoom 等を活用したオンライン会議方式での開催も検討いたします。

2023年度「関西経営品質賞 申請組織説明会」 参加申込書

本説明会において、「関西経営品質賞」へ申請することの意義や、そこから得られるメリット、また具体的なステップに関する説明会を実施いたします。

また、当年度「関西経営品質賞」へ申請される場合、経営トップ自ら関西経営品質賞へ申請することの目的・意義を再認識していただくため、経営トップの方の本説明会へのご参加を当年度の申請の必須条件とさせていただきます。（ご都合がつかない際は、事務局へご相談ください。）

と き 2023年7月21日（金） 10:00～12:00

ところ (公財)関西生産性本部 会議室 (大阪市北区中之島 6-2-27「中之島センタービル28階」)

※ 原則対面での開催となります。ご都合がつかない場合は事務局までお問合せ下さい。

対 象 申請組織の経営トップ、および推進担当者

費用 無料

問合せ (公財)関西生産性本部「関西経営品質賞」事務局(揚倉・川島)
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階
TEL (06) 6444-6464 FAX (06) 6444-6450

.....キリトリ.....

関西経営品質賞 事務局 川島 行 FAX No. (06) 6444-6450

2023 年度 「関西経営品質賞 申請組織説明会」 参加申込書

組織名			
参加者	所 属 ・ 役 職 名	氏	名（フリガナ）
①			
②			
③			
<p>【ご担当者連絡先】</p> <p>〒 ー</p> <p>Tel（ ） ー Fax（ ） ー</p> <p>e-mailアドレス：</p> <p>〔ご所属・お役職名〕</p> <p>〔氏 名(フリガナ)〕</p>			

個人情報について

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<https://www.kpcnet.or.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。
2. 個人情報は、本事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
4. 個人情報の開示、訂正、削除については、経営革新部(☎06-6444-6464)または組織部個人情報保護担当窓口(☎06-6444-6461)までお問合せください。
5. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。